



横浜市立一本松小学校

6月号

横浜市立一本松小学校

校長 高桑 透

令和8年5月29日

学校だより

『あいさつがつなぐもの』

副校長 菊野 一美

このたび、一本松小学校に着任いたしました菊野です。副校長として、本校の教育活動の充実に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



毎朝、校門に立って子どもたちと挨拶を交わしていますが、「おはようございます。」だけで終わらず、「英語の時間に、発表していたね。」「校外学習、気を付けて行ってきてね。」といった声をかけると、うれしそうに返えてくれる子どもたちの姿があります。こうしたやりとりを通して、少しずつ顔と名前が一致し、「知り合い」が増えていくことに喜びを感じています。子どもたちとも、保護者や地域の皆様とも、早く“顔の見える関係”になりたいと思っています。

一本松小学校の子どもたちは、登校時はもちろん、校内ですれ違う場面でも自然に挨拶ができる、とてもすてきな姿を見せてくれています。また、職員室でも、職員同士がいつも気持ちよく挨拶を交わしています。これは本校の大きな魅力の一つです。

私は登山が好きですが、山でもすれ違う人同士が「こんにちは。」と声を掛け合い、「お先にどうぞ。」「ありがとうございます。」と自然に言葉を交わします。知らない人同士でも、挨拶ひとつで気持ちが軽くなる、不思議で心地よいひとときです。

先日、鎌倉へハイキングに行きました。そこで多くの外国の方とすれ違いました。「こんにちは。」と声をかけると、「コンニチハ。」と笑顔で返ってきます。道を譲ると「アリガトウ。」「スミマセン。」といった言葉も聞こえ、挨拶が人と人をつなぐ力を改めて感じ、うれしくなりました。

さて挨拶といえば、先日休憩時間にある教室をのぞいた時のことです。私の方から先に「おはようございます!」と声をかけ、「先に挨拶をしたので、私の勝ちですね。」と言ってみました。子どもたちは一瞬きょんとしていましたが、「挨拶は勝負です。」と続けると、顔を見合わせながら、少し笑い合い、「なるほど」と納得した様子でした。すると翌日、そのクラスの子が、今度は私よりも素早く「おはようございます!」と声をかけてきました。どうやら本当に“勝負”として受け止めてくれたようで、思わずこちらが一本取られました。

挨拶は、相手を思いやる心や社会性を育む大切な第一歩です。本校ではこれからも、挨拶を大切にし、互いを認め合える温かい学校づくりを進めてまいります。時には“ちょっとした勝負”も交えながら、楽しんで取り組むのもよいかもしれません。ご家庭でも、ぜひ日々の挨拶を話題にいただければ幸いです。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。